

ま ち づ く り を 着 実 に 進 め ま す



▲総合型放課後事業を
全公立小学校で実施

魅力向上・地域経済の活性化に
向けた観光施策の推進▼



▲王仁公園に
スケートボード場整備

令和5年度当初予算は、市議会議員選挙と市長選挙が予定されているため骨格的予算とし、主に市民の安全・安心や福祉の向上に役立てるもので、緊急で必要性の高い事業や国の制度に基づくものを計上する方針で編成しています。財源確保に取り組むとともに、子育て・教育環境の充実に取り組むほか、枚方市駅周辺の再整備を進めるなど魅力ある都市基盤の整備を進めます。

☎財政課 ☎841・1311、☎841・3039



子育て環境の充実

令和5年8月診療分から 子ども・若者の医療費助成を拡充

15億7171万円

現行0歳～15歳としている保険診療分の医療費の一部自己負担分を除いた費用と入院時食事療養費助成の対象年齢を18歳までに拡大します。

また、19歳～22歳の市民の入院費にかかる保険診療分の一部自己負担分を除いた費用と入院時食事療養費を助成します。

総合型放課後事業を 全公立小学校で実施

14億6779万円



全ての公立幼稚園で給食提供を開始

3124万円



教育環境の充実

福祉・教育スクールソーシャルワーカーの増員による相談支援体制の充実

5695万円

中学校給食の全員給食に向けた給食共同調理場の改修設計

911万円

障害のある子どもたちへの支援教育の充実と学校エレベーターの整備

3億3453万円

学校空調設備の整備

6億5102万円

子どもたちの熱中症対策に加え、避難所の環境改善に向けて、小中学校の体育館に空調設備を整備します。また、教室等既存空調設備の維持管理と更新に向けた検討を実施します。



魅力ある都市基盤の整備

枚方市駅周辺の再整備

63億4205万円

枚方市駅北口駅前広場などを含む③街区の再開発事業（令和6年度完成予定）が事業期間中の最盛期であり、そのための補助金、安全・安心な歩行空間の形成や交通動線の円滑化に向けた外周道路整備工事などの支援を行います。また、事業の進捗に合わせて、市駅前複合施設内に整備する市民窓口や図書館などの行政サービスの再編の運営管理や内装工事の詳細の検討に取り組みます。

市駅南側エリアについては、環境影響評価などを実施するとともに、民間が主体となりまちづくりなどを行うエリアマネジメントの仕組みの導入を目指すための社会実験などに取り組みます。



都市計画道路の整備

10億9031万円

王仁公園にスケートボード場を整備

3000万円

京阪本線連続立体交差事業・関連まちづくり事業の推進

36億4402万円



健康・福祉のまちづくり

難病対策事業の充実

1105万円

母子保健事業の充実

117万円

新型コロナウイルス感染症対策

28億1494万円

共同生活援助支援の充実

8630万円

グループホームでの重度障害者の受け入れ促進に向けて、新規開設補助金、運営支援補助金などを見直し、人材確保の支援や施設の改修、運営にかかる助成などを充実させます。



その他の主な取り組みと予算額

魅力向上・地域経済の活性化に向けた観光施策の推進

2166万円

魅力向上・地域経済の活性化に向けて、「思わず立ち寄りたくなる淀川の中継港へ」をコンセプトに観光施策を推進。民間事業者等による持続的で魅力ある事業展開を目指し、データ収集・分析に基づくプロモーションをはじめ、淀川を起点に地域資源を周遊するツーリズム開発や、アウトドア体験、水辺アクティビティが楽しめる河川空間活用に向けた実証イベントに取り組みます。



脱炭素社会の実現に向け公共施設への太陽光発電設備の導入を検討

1300万円



LED防犯灯の新設・取替・修繕費用を補助

3998万円

ひらかた万博の周知・啓発

331万円

デジタル環境の整備

3億9311万円

令和7年度末までの住民基本台帳や税、児童手当など20業務の情報システムの標準化・共通化に向けた対応を進めます。

生涯学習市民センターや総合文化芸術センターなど公共施設等にフリーWi-Fi環境を整備し、デジタルサイネージを導入します。また、来庁者の利便性の向上と業務の効率化を図るための都市づくり情報を集約した窓口端末の設置のほか、地域活性化支援センターでフリーWi-Fi環境やテレワーク環境を整備します。

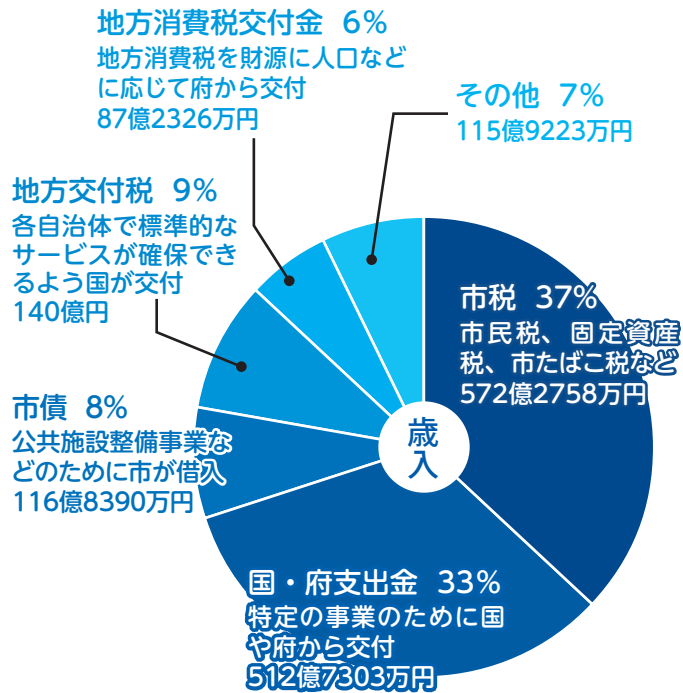
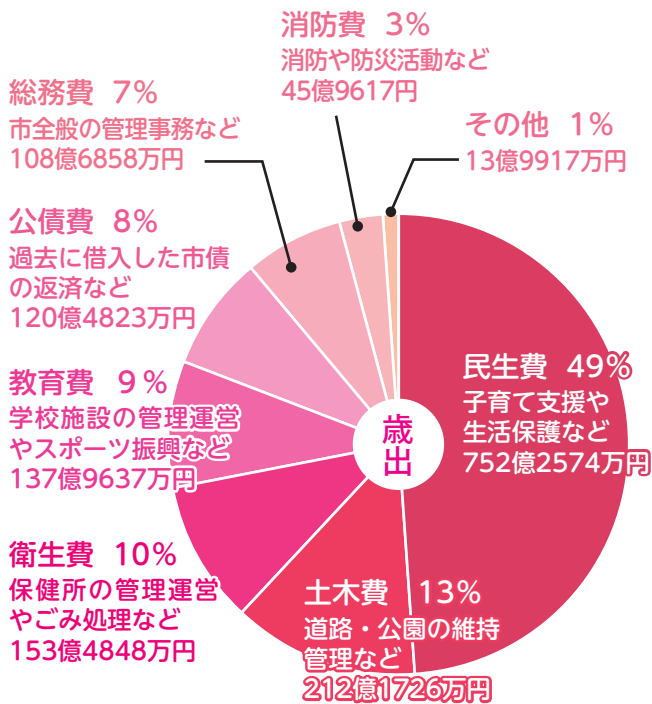
雨水ポンプ場の耐震化・設備更新

5億2180万円

令和5年度一般会計当初予算

市議会3月定例会月議会にて議決された令和5年度の当初予算をお知らせします。

一般会計1545億円 前年度比55億円(3.7%)増



歳出では、民生費は社会保障関連経費の増などにより22億8700万円増加、衛生費は新型コロナウイルス感染症対策経費などの減により5億1200万円減少、土木費は枚方市駅周辺再整備ビジョン推進事業経費などの増により37億9000万円増加しています。

歳入では、市税は個人市民税や固定資産税等の増などにより、11億3100万円増加しています。また、地方交付税は23億円増加、市債は臨時財政対策債の減などにより、4億7600万円減少しています。

各会計別当初予算総額 (単位：百万円、金額は十百万円の位を四捨五入)

会計区分	令和5年度 当初予算	前年度比 (▲はマイナス)
一般会計	154,500	5,500
特別会計	国民健康保険	▲ 1,903
	自動車駐車場	0
	財産区	▲ 8
	介護保険	1,396
	後期高齢者医療	209
	母子父子寡婦 福祉資金貸付金	1
企業会計	水道事業	2,292
	病院事業	53
	下水道事業	▲ 1,718
全合計	286,265	5,822

※企業会計の予算は、収入と支出が一致しないため支出額を記載。

全会計の予算総額は 2862億6509万円

市には福祉や教育、道路整備などさまざまな事業を行うための一般会計のほか、6つの特別会計と3つの企業会計があります(左表)。特別会計と企業会計は、国民健康保険料や水道料金など市税以外の収入を使って事業を行うため、事業ごとの収支や資金管理などが行いやすいよう、一般会計とは区別して設けています。